



2013年8月8日

各位

会 社 名：株式会社三菱ケミカルホールディングス  
代表者名：取締役社長 小林 喜光  
(コード番号：4188)  
問合せ先：広報・I R室長 池川 喜洋  
TEL. 03-6748-7120

連結子会社（田辺三菱製薬株式会社）の  
米国ヤンセン・バイオテック社との間における仲裁裁定について

当社連結子会社である田辺三菱製薬株式会社（コード番号:4508 東証第1部、社長:土屋裕弘、本社:大阪府中央区）が、本日、別添の通り、米国ヤンセン・バイオテック社との間における仲裁裁定について発表いたしましたので、ご連絡いたします。

以上



2013年8月8日

各 位

会 社 名 田辺三菱製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 土屋裕弘  
コード番号 4508 東証第一部  
問合せ先 広報部長 笹生好久  
TEL:06-6205-5211

### 米国ヤンセン・バイオテック社との間における仲裁裁定について

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：土屋 裕弘）は、当社が国内で販売する抗ヒト TNF $\alpha$  モノクローナル抗体製剤「レミケード<sup>®</sup>点滴静注用 100」（一般名：インフリキシマブ）に関し、ヤンセン・バイオテック社（旧：セントコア・オーソ・バイオテック社、本社：米国ペンシルベニア州、以下「ヤンセン」）に対し、開発販売契約に基づく供給価格の改定を求めて、2009年1月に国際商業会議所（ICC）に対して仲裁申立を行いました。このたび、供給価格を低減すべきとの仲裁判断を受領しましたのでお知らせします。

なお、当社は、過年度分（2008年4月～2013年3月）の供給価格の精算金額として約117百万米国ドルを受領しました。

レミケード<sup>®</sup>は、ヤンセンが創製した関節リウマチ等の治療薬で、1993年に日本およびアジアの一部における本剤の開発・販売に関する契約を締結し、2002年にクローン病治療薬として日本での販売を開始しました。

なお、当社連結業績見通しへの影響は、確認でき次第、公表する予定です。

以上

《 本件に関するお問い合わせ先 》  
田辺三菱製薬株式会社 広報部  
TEL : 06-6205-5211